

グリーンリカバリーと地域の産業政策 ～ドイツの事例を参考に～

地球温暖化の防止や生物多様性の保全を実現し、よりよい未来を目指す「グリーンリカバリー*」が世界中で広がりを見せています。この考え方を取り入れながら、地域資源を活かした政策展開を進めることにより、環境を保全しつつ経済と環境の好循環をつくり、新たな雇用の創出や地域の産業振興につなげていくことが重要です。

この研修では、ドイツの事例を参考に、グリーンリカバリーの基本的な考え方を理解するとともに、各地の資源を活用しながら地域の産業振興へとつなげる方策を考えます。

*「グリーンリカバリー」って？

グリーンリカバリーとは、直訳すると、「緑の復興」です。新型コロナウイルス感染症で大きなダメージを受けた経済と社会を、これまでの状態に戻すのではなく、地球温暖化の防止や生物多様性の保全を実現し、よりよい未来を目指すという考え方です。コロナ禍からの経済復興策として、EU諸国を中心にこの考え方が広がってきています。

開催要領

日 程

令和4年6月13日(月)～6月15日(水)(3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市区町村の環境政策、企画、公営企業、都市計画、まちづくり等の業務に携わる職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

10,200円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和4年4月21日(木)まで **令和4年5月12日(木)まで延長**

※申込後、4月初の人事異動に伴う受講者の変更については柔軟に対応いたします。

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和4年

6月
13日(月)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~14:30

**講義 グリーンリカバリーを軸とした地域の産業振興
～なぜ今グリーンリカバリーなのか～**

京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹 氏

「グリーンリカバリー」は、コロナ禍からの経済復興策として、EU諸国を中心に広がってきています。基本的な考え方やその背景などについて、EUやドイツの状況も交えてお話しいたします。

14:45~17:00

講義 自治体の産業政策展開の手法

株式会社ローカルファースト研究所代表取締役・東洋大学客員教授 関 幸子 氏

グリーンリカバリーを意識した自治体の産業政策の展開手法についてお話しいたします。地域の資源を使いながら、新しく産業を創出するために今自治体は何をすべきか、SDGsの視点も含めてご講義いただきます。

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和4年

6月
14日(火)

9:25~10:35

事例紹介① ドイツの持続可能な地域づくりにおけるシュタットベルケの役割

環境ジャーナリスト・株式会社ニセコマチ取締役・クラブヴォーバン代表 村上 敦 氏

ドイツの「シュタットベルケ」が、地域資源を有効活用して、地域課題に対応し、地域内経済循環を重視し、地域において多くの雇用を創出している状況をお話しいたします。シュタットベルケとは、19世紀末からはじまった自治体社会主義の流れで、生存権保障サービスとしてのインフラ整備(水道、公共交通、電力、ガス、住宅供給、住民サービス等)をしている自治体資本を有する事業体の総称です。

10:50~12:00

事例紹介② 北九州市のグリーン成長に向けた取組

北九州市環境局グリーン成長推進部グリーン成長推進課長 工藤 里恵 氏

北九州市のグリーンリカバリーを軸とした産業政策についてお話しいたします。産業都市という特性を持ち、市内で排出される温室効果ガスの約6割を産業分野が占める北九州市は、2022年2月に「北九州市グリーン成長戦略」を策定。市の強みを生かした「洋上風力発電の推進」を中心に、エネルギーの脱炭素化を戦略的に推進し、「環境と経済の好循環」の実現を目指しています。

13:00~14:10

**事例紹介③ 「百年の森林構想」から「生きるを楽しむ」へ
～だれ一人、取り残さない地方創生の取組～**

岡山県西粟倉村地方創生特任参事 上山 隆浩 氏

人口約1,400人の西粟倉村の政策についてお話しいたします。「百年の森林構想」を主軸に、林業、エネルギー、ローカルベンチャー、と多彩に産業政策を展開しています。2015年、「起業+移住」をコンセプトとした「ローカルベンチャースクール」プログラムを開始。起業する人や関係者の移住が増加し、人口の社会増や地域の子どもの数も増加するなど大きな成果を上げています。2017年には新たな村のキャッチコピーとして「生きるを楽しむ」を着想し、だれもが自分らしく楽しく生きられる地域づくりを進め、2019年には「SDGs未来都市(モデル事業都市)」に選定されています。

14:25~17:00

演習 グリーンリカバリーを軸とした地域の産業政策 I

京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹 氏

これまでの講義内容および先進事例をもとに、グリーンリカバリーを意識した政策展開への見直しや、地域の資源を活用し産業政策につなげる方策等について、グループで検討します。

17:00~

課外学習

令和4年

6月
15日(水)

9:25~12:00

演習・発表 グリーンリカバリーを軸とした地域の産業政策 II

京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹 氏

グループごとに考察した内容や討議の成果を発表します。その後、講師より講評等をいただきます。

12:00~12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

※本研修は、全日程を京都大学大学院経済学研究科教授 諸富 徹氏にご指導いただきます。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。